

# 本庄南ロータリークラブ



慈愛の種を  
播きましょう

## 会報

例会日 毎火曜日 19:00~20:00  
例会場 埼玉グランドホテル本庄 五州園(最終火曜日)  
事務所 埼玉グランドホテル本庄内 〒367-0041 本庄市駅南2 2 1  
Tel: 0495 23 0143 / Fax: 0495 23 0141  
E-mail: rotary@mail.honjo.ne.jp

会長 高橋 茂雄      クラブ会報委員会 / 委員長 木村 真純 / 副委員長 小松 政敏  
幹事 堀川 明      / 委員 佐藤 重孝・長沼 章・矢部 一臣

### 第424回例会      12月10日      発行 平成14年12月17日(火)

- ◎司 会 / 奈良橋秋夫SAA
- ◎点 鐘 / 19時00分 高橋茂雄会長
- ◎ソング / 我等の生業
- ◎ゲスト /

RRRRR    RRRRRRRRRRR    RRRRR    RRRRRRRRRRR

会 長 挨拶      高橋茂雄会長



12月も第2週ともなりますと忘年会のシーズンの真っ盛りかと思いますが、お酒を飲み過ぎて体調をこわさないようにお気を付け下さい。また飲酒運転にはくれぐれもご注意下さい。

12月8日(日)に服部会員の御母堂の告別式がありました。クラブよりお花を供えさせていただきました。

さて本日は久しぶりの会員卓話として竹並会員の県政についての講演が予定されております。その前に先週の12月理事会の報告をさせていただきます。

先週理事会の報告決定事項のうち主なものとしては

- 1 R財団のベネファクターに松本会員、ポールハリスフェローに清水(由)会員がそれぞれ寄付を完了したとのガバナー事務所より連絡がありました。
- 2 12月17日(火)の五州園でのクリスマス例会の内容については予算内で幹事、SAA、親睦委員会で協議決定することとなりました。
- 3 来年1月9日(木)の五州園での本庄RCとの合同新年会の開始時間はpm6:30と決定しました。
- 4 カンボジア訪問の際の現地のロータリークラブとの提携については本年度は期間がないので次年度検討することとなりました。

- 5 10周年記念式典の講演について演者はディール・ハリソンさんをお願いすることに決定しました。
  - 6 新幹線の寄付についてはクラブ全体で30万円を目標として実行は10周年記念事業の決算が終了後年度内にすることとなりました。
  - 7 ひまわり作業所への今後の支援について活発な議論がなされました。
  - 8 浅田会員が次年度高山孝ガバナーのガバナー補佐に指名される予定であるがクラブとしてもバックアップをしていこうということになりました。
- 尚、先週の年次総会で決定した次年度の会長、会長エレクト、副会長、幹事以外の役員、理事の人選については、根岸会長エレクトと相談の上指名委員会の協議承認を経て次年度会計として堀口孝利会員、理事として松本忠夫会員、戸谷全克会員、星野栄一会員、中原秀夫会員、服部浩一会員の5名と決まりましたのでご報告いたします。

では次週はクリスマス例会です。ご家族共々ご出席を期待しております。同日はカンボジア訪問の支援物資を集めることになっておりますので宜しくお願い申し上げます。

#### 幹事報告

堀川 明幹事



例会変更: 秩父・皆野長瀬・岡部・本庄RCすべてクリスマス例会の変更です。

週報: 川本R.C 回覧いたします。

国際R奨学生募集のポスターが15枚来ております。会員の職場、商店、病院、市役所等に貼って頂きたいと思っております。

## 委員会報告

### 浅田 進会員



次年度ガバナー補佐の件ですが保留にしていました。ただ今高橋会長から会員皆様に披露させて頂きました。これから準備に入り、一年半の間お世話になるわけですが、本クラブのためにも一生懸命頑張りたいと思っています。よろしくお祈りします。

### 高橋政夫会員



次年度会長エレクトという大役が回ってきたかと思っております。根岸次年度会長とともに勉強させて頂いてお世話になりたいと思っております。

### 星野栄一会員



当クラブ創立10周年記念の一環として、来年2月7日よりカンボジアに行ってみようと思います。向こうの人々の暮らしはびっくりするほど貧しいものがあります。石鹸、タオルなど持ってまいります。そろそろ集めたいと思っております。少しでもお役に立てばと思っております。

## 卓 話

### 竹並万吉会員



・時局講話『今、何が必要か』

今まさに地方分権時代を迎えています。このことは言いかえると都市対抗戦が始まったと言えます。それぞれの自治体が文字通り主体性を高めるために税収と人口を増やすためのあの手、この手の努力が必要となりました。それにしても一日も早く景気をよくし、何とか、街を元気にしたいものです。

ところで、小泉首相はバラマキ型の公共事業による景気浮揚ではなく、国の各省庁は勿論、各種の公社公団を抜本的に見直しそれらを大巾に削減すると共に、役人主導の国家運営体制を民間活動中心の新しいシステムに切りかえる構造改革を行うことによって、社会に活力をとりもどさせようと真剣に取り組んでおりますが、いわゆる族議員という諸官庁出身や利権代表の国会議員と省益を守るという官僚の抵抗があってそのプログラムは大いに難航しております。

又、バブル崩壊後の多額の不良債権をかかえた銀行の体質改善も仲々進まず、今や社会全体がデフレの加速により急速に活力を失い、経済活動が大変に停滞しております。

私は不良債権処理は考古学的発掘と異なり、生きた経済活動の中で行わざるを得ず、今日の健全債権が明日の不良債権になりかねないような景気低迷化の下でのこの問題の過剰な処理は益々悪循環に陥って行くことを懸念しています。

今やるべきことはこれ以上景気を悪化させないような歯止めをかけた上で、経済活動を活発にさせておいてその中で回収不能な不良債権の適切な処置を行うべきだと思います。そこで、鎌倉、室町時代に行われたという昔の徳政令の発想に立って各企業が抱えている通常の金融機関からの全債務のうち、当該企業が希望すればこれからの3年間は、元利金の返済を全面的に凍結し、その間、今日の売上や利益は明日の取引のために全額使えるようにするという「平成の徳政令」を発令すべきだと思います。そしてこの間は各金融機関の運営に支障のないよう必要な運転資金は日銀の0金利を活用して資金調達を行わせればよいと考えます。

又、日常の経済活動の活性化のための具体策の1つとして、日本の「衣食住」分野のうち世界の先進国に比べて一番見劣りしている『住』分野を景気浮揚のキッカケにすることが必要ではないでしょうか。「住」産業分野は裾野が広く、日本の経済活動の主要部分であり、これが活性化することにより内需が拡大し景気はよくなることは充分想定されます。従って、この分野を元気にするために、まず今からの3年間に限り、住宅関連の取引については消費税を全額免除し、又、住宅購入資金にあてるなら、贈与税も原則として全額無税にするという税制優遇措置によって個人消費を拡大し、社会の中に活力を生み出し、景気をよくするべきであります。

そして、3年後の時点で改めて凍結しておいた債務を総点検し、回収不能分については、しかるべき第三者機関による査定も行き、当該企業の経営者等に責任をとらせた上で、必要ならば公的資金で精算することには如何であろうか。

更に、今後は有能官僚を積極的に活用すべきであると思う。このことは安易な天下り防止にも役立つはずである。というのは役所の最高峰といわれる財務省のトップである事務次官の場合、調べてみるとここ10年位の間では在任期間は平均わずか13ヶ月位で次々と交替しているのである。

50代後半の現役バリバリの優秀官僚が折角次官に登りつめても1年1ヶ月後に辞めなければならないとなると天下りしたくなるのも人情である。私は是非このようなトコロ天式高級官僚のムダな人事システムの風習を改め、プロ野球の不動の4番バッターのようにその人物より実力、能力が上のものが出現したときのみ交替するようにするべきだと思います。その間は大事な仕事に専念させるのです。

また、天下り先をいくつもつくったその元は、ありあまる郵貯の金があったため、おかしな公社公団を数限りなくつくってしまったのです。従って、小泉改革のめざす通り郵便貯金は民間金融機関に移管する必要があります。更に日本の場合、10年間に10人も総理大臣が替わるような目まぐるしさから脱皮し、腰を落ち着けて大事な仕事に取り組んでもらうには早急に首相を公選にし、アメリカ大統領並みに1期4年の2期8年までは務められる政治システムを構築することもやるべき構造改革であると思います。

そして、今一番大事なことは自給自足のできる地方自治体づくりであります。本来税金はすべて市町村民が納めているのであるが、その市町村民がたまたま県民や国民も兼ねているので、県にも国にも税金を届けているわけですが、主権在民の原点に立てば、納税はその者の所属する市町村へ県税・国税分も含め一括納入するように改めて受けとった市町村はその財源を活用して、教育や福祉や文化や環境等々、自主的にやれること、やるべきことをしっかりと行い、市町村ではできないこと、例えば河川管理や大型道路や交通対策等を行うには、残った税金をつけて都道府県に下請けに出し、都道府県も自分達ではできない外交や防衛策等は残った予算をつけて国に下請けに出す形にし、国も又、世界平和のためのことをやってもらうには国連分担金を添えて国連に下請けに出すというようにすれば中央省庁の役人主導の交付金システムは不要となり、外務省で発覚した不明瞭な機密費等の問題は起こらなくなると思います。

そのためには、住民の生活の受け皿である市町村の足腰を強くすることが必要で原則として人口が20万人位の「市」に集約し、それぞれの都市がその運営能力や市民の満足度を競わせることによって、21世紀の明るい展望が開けてくると思います。ちなみに本庄・児玉都市6市町村に岡部町を加えた拠点地域としての合併ができれば現在の人口は16.8万人となり熊谷市の16.6万人とほぼ同じ規模となります。これにもし深谷市まで含めると約30万都

市も実現するのであります。又、将来は埼玉大学・群馬大学の合併も見込まれているので、今後は大学だけでなく埼玉・群馬両県が合体することによって道州制に先駆けて日本で初めての「政令県」を実現することも視野に入れてよいと思います。

いずれにしても少ない税金でいかに最良のサービスを提供しうかが今求められている地方分権の確立であり、それを実現するために市民の良識と知恵が求められているといえます。

ここではっきり言えることは、今すすめるべき合併はメリット・デメリットの問題ではなく、国家財政が破綻し、親元からの仕送りがなくなる以上、今までのような各々の市町村運営は不可能となるので、今後はいかに主体性をもって住みよいまちをつくっていくかが大切となります。

そのためには小泉首相が最優先で用意してくれている各種の合併特別債という手切金的独立資金を最大限有効利用して、私達の求める理想の生活空間、自慢できるふるさとづくりに全力で取り組んでいくではありませんか。

#### 出席報告

福島好正出席委員長

会員数	出席	M.U	欠席	出席率
33名	22名	3名	11名	75.7%

#### 例会予定

- 12/24 第426回 / 五州園 / PM7:00 親睦例会
- 12/31 公式休会
- 1/ 7 振替休会
- 1/ 9 第427回 / 五州園 / PM6:30 合同新年会
- 1/14 第428回 / 埼玉GH / PM7:00 定例理事会  
卓話 講師 梅若清瑛様
- 1/21 第429回 / 埼玉GH / PM7:00 卓話予定

#### ニコニコボックス

- 堀川 明幹事 竹並県議、卓話ありがとうございました。
- 山田勝治会員 前回欠席しました。2001～02年第9グループ会長・幹事交流会欠席のためMU12/4上里で行いました。
- 高橋政夫会員 先週は休み申し訳ありません。

#### 欠席者のメッセージ

- 黒岩茂夫会員 都合により、欠席致します。
- 阿奈靖雄会員 新潟出張中の為 "